様式３　令和４年度新座市学校評価システム学校関係者評価シート　　No.1

学校名	新座市立西堀小学校
実施日	令和　5年　1月　20日

＜記入の仕方＞　○「自己評価」及び「学校関係者評価」の欄には、A～Dを記入してください。

○「自己評価についての説明」の欄には、その評価に至った理由及び自己評価の結果を学校がどのように受け止めるかを明確にしてください。

評価項目「独自」

No.	質　問　項　目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
1	学校は、児童の良さを認め、肯定的な行動支援を積極的に行い、もうひとがんばりできる子の育成に取り組んでいる。	A	(中間3．40→本評価3．68) ・教員が児童の頑張りを認め、結果を褒めている。また、結果が良くなくても励まし、次に繋げるような言葉がけを行っている。 ・研究内容に基づいた声がけを行っている。 ・児童の話を教師が聞いている。	A	学校長の示す「ポジティブな行動支援」については、運営協議会、PTA代表委員会、懇談会等で周知するとともに、ホームページや学校だよりで学校の取組や児童の成長がうかがえる。 授業参観でも、児童が臆することなく自分の意見を述べたり、他者の意見を尊重する場面があった。 引き続き、自己肯定感を上げ、他者との関わりをもつ支援を実施してほしい。
2	学校は、学力向上プランに基づいた授業改善を行い、組織的に児童の基礎的学力（知識・技能）、思考力・判断力・表現力及び学びに向かう態度を定着させるよう実践している。	A	（中間3．30→本評価3．53） ・校内研究や研究授業、学力考査の結果や課題点の共有ができている。 ・課題を明確にすることを意識して授業を行い、ふりかえりをすることを継続している。 ・基礎学力定着のための学習プリントを使用している。 ・個別指導を行ったり話合い活動を行ったりしている。	A	全国、埼玉県の学力・学習調査で前年を上回る結果を出したことで、教員が自信を持てたのではないか。 個別指導、基礎学力の定着にモジュールを活用したり、家庭学習でAI型ドリルを導入する等、引き続き組織的に学力の向上に向けて取組を続けてほしい。
3	学校は、ICTを積極的に活用し、個別最適な学び及び協働的な学びを基盤に、児童が主体的に学習できるよう工夫している。	A	（中間3．45→本評価3．47） ・Chromebookを活用し、授業を展開している。 ・単元内容に応じて、タブレットを活用し、児童の意欲の向上に努めている。 ・ICTの活用は日常で実施している。 ・AIドリルを4年生から導入し、個に応じた学習に応じている。	A	全学年でタブレット端末を活用している。 1年生も、日常でクロムブックをどの教科でも使用し、必須の学習アイテムとなっている。 授業でも、大型テレビ、PC、タブレットを使い分け、学習意欲をあげることに効果がでている。 個別最適化、協働の学びについては、継続して指導してほしい。

評価項目「組織運営」

No.	質　問　項　目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
4	学校は校務分掌や主任制を適切に機能させるなど、組織的な運営・責任体制を整備している。	B	（中間2．90→本評価3．05） ・主任に仕事が偏っている。 ・定期的に部会を開き、行事の提案、実施、改善をしている。	B	評価はBだが、中間評価と比較して数値は上がっている。 職員の大きな異動を機に、組織の体制を見直すとよい。
5	学校は経営方針を具現化するために、学校評価の実施等を通じて、PDCAサイクルに基づく学校経営を行っている。	A	（中間3．20→本評価3．42） ・自己評価シートを計画に基づいて実施している。評価結果を明示し、職員との共有を行い、具現化に努めている。	A	中間評価を受けて、PDCAサイクルを実践した結果が、数値に表れている。 チーム学校としての共通行動で経営方針の具現化を進めてほしい。
6	学校は事故や不審者の侵入等の緊急事態発生時に適切に対応できるよう。危機管理マニュアル等を作成し、迅速に対応できる体制を整えている。	B	（中間2．75→本評価3．00） ・不審者対応訓練を3学期に実施する。 ・マニュアルは作成している。適宜、見直しと確認を行っていく。	A	門扉の戸締り、開閉の仕方を明示する等、工夫がみられる。また、一般の方も使用する道路であっても、門扉の開閉が習慣づけられていて一層の安心感を与えている。

評価項目「学力向上」

No.	質 問 項 目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
7	学校は、児童生徒が学習内容の理解を深めることができるよう、学習ルールを定め、それに基づいた授業を展開している。	A	（中間3．40→本評価3．47） ・西堀スタンダードを、年度初めに全職員で確認、共通行動で実施している。	A	生徒指導部発信で、西堀スタンダードが確立されていてよい。教室内の掲示物も場所が共通していて分かりやすい。 学習ルールは、全校で統一し指導の一貫性を保持してほしい。
8	学校は、各教科の指導において言語活動を重視した授業を展開し、児童生徒の思考力・判断力・表現力等の育成に努めている。	B	（中間3．25→本評価3．37） ・言語活動では、コロナ禍で制限があった。 ・作文や、タブレットのアプリを利用して児童間の意見交換等を通して、他者を尊重し、思考力、判断力、表現力を向上させた。	B	発語だけでなく、ロイロノートのような文字を打ち込むことで自分の考えや他者との意見交換をしている。 コロナ禍でも学習形態の工夫が随所でみられる。 直接話す場面が増えるとよい。
9	学校は学習指導要領や県編成要領、新座市指導の手引きに基づき、児童生徒の発達の段階や学力、能力に即した学習指導を行っている。	A	（中間3．25→本評価3．47） ・年間指導計画に基づいて授業をしている。 ・児童の発達に応じて適切に学習を指導している。	A	学級だよりや学年だよりで学習の予定を明示している。 授業参観でも先生方の指導方法が優れており、指導力の高さを感じた。
10	学校は、英語（外国語・外国語活動）の授業の充実するなど、グローバル化に対応できる児童生徒の育成（国際理解教育の推進）に努めている。	B	（中間3．00→本評価3．21） ・EETとのTTのほかに担任が授業を行っている。 ・給食時に、英語のチャンツを放送して英会話の能力向上に努めている。	B	英会話が中心である。 高学年は、wrightingをもっと取り入れてほしい。中学への進学を意識して改善をするとよい。

評価項目「豊かな心の育成」

No.2

No.	質 問 項 目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
11	学校は、児童生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつをしたり、「です、ます」をつけるなど、場に応じた言葉遣いができるよう指導している。	B	（中間3．25→本評価3．32） ・生徒指導部を中心に今月の生活目標をたてて、共通理解、共通行動をしている。 ・来校者へのあいさつ、礼節、その場に応じた言葉遣いを常時、指導している。 ・教員の指導の仕方には差が生じている。	A	学校、家庭、地域が一体となって指導が行われ、子供たちに習慣が定着している。
12	学校は、児童生徒がいじめや意地悪な行為をすることなく、お互いの良さや努力を認め合って学校生活を送れるような環境を整備している。	A	（中間3．25→本評価3．53） ・生徒指導部主導で、毎月生活アンケートを実施している。 ・特活部を中心に年間をとおして縦割り活動を計画、実施している。 ・いじめの発生時は組織で対応し、見届けを必ずしている。	A	ポジティブな行動支援、生徒指導部のぽかぽか言葉等、学校全体で温かな雰囲気づくりをしている。 いじめ、問題行動は組織で対応している。
13	学校は教職員自らが手本となり、児童生徒に対して規律意識を高める指導を行っている。	B	（中間3．00→本評価3．37） ・服装や言葉遣いは模範となるよう指導をしている。教員の意識を今後も向上していく。	A	指導でも怒鳴らず、丁寧に対応し諭している。 規律が守れるよう、教員が言葉遣いに留意している。

評価項目「健康・体力の向上」

No.	質 問 項 目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
14	学校は、児童生徒が体力向上に向け、体育や部活動・休み時間などにおいて意欲的に取り組めるよう指導に当たっている。	A	（中間3．15→本評価3．47） ・体育朝会、運動会、プロに学ぶ出前講座を実施している。 ・季節に応じて、外遊びの励行、なわとび検定等児童の学習意欲を向上させている。 ・体育委員による運動教室を実施した。	A	校長先生が自ら指導する場面があり、体力向上に努めている。 大なわ大会等、子供たちががんばれる企画を実施している。 プロに学ぶ機会を与えている。
15	学校は、食に関する意識を高める食育に取り組むなど、計画的に健康教育を推進している。	A	（中間3．10→本評価3．47） ・給食週間で、食育に関する取組を実施した。 ・栄養職員による、給食メニューの工夫、地消地産等努力をしている。	A	バランスの良い食事かつ子供たちが楽しみにしているメニューと多くの工夫がみられる。

評価項目「保護者・地域との連携協力」

No.	質　問　項　目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
16	学校は、保護者や地域住民の意見を取り入れる機会を積極的に設け、学校に寄せられた具体的な要望や意見を把握し、適切に対応している。	A	（中間3．55→本評価3．47） ・PTAや学校運営協議会をとおしてご意見をいただいている。 ・保護者の要望には丁寧に説明し、迅速に対応している。	A	PTA代表者会議、学校運営協議会等定期的に行っている集まりでなくとも、要望や意見は随時、対応をしている。
17	学校は、学校だよりやホームページなどで、教育活動の様子や成果・課題などについて定期的に情報提供している。	A	（中間3．50→本評価3．74） ・学校だより（毎月）、ホームページ（毎週）で学校や児童の様子を伝えている。 ・授業参観、懇談会でも同様に努めている。	A	子供の活躍、行事の様子をホームページ、学校だよりで発信している。 ホームページは写真もカラーで毎週更新されていてよい。
18	学校は、学校応援団組織を活性化させるとともに、保護者や地域と連携して声かけ運動、美化活動、不審者対策など、計画的に実施している。	B	（中間3．30→本評価3．26） ・学習支援、地域の見守りでは大変お力を借りている。 ・不審者情報は、迅速に発信し、防犯対策をしている。	B	コロナ禍のためか、活動が困難になっている。 応援団の組織化が必要である。まずは、コーディネータの育成が先決。さらなる推進をお願いしたい。 防犯意識はまだ個人差がある。